

令和元年11月21日定例教授会議事抄録

出席者

梶屋所長

青山, 池本, 大木, 小寺, 佐藤, 菅, 園田, 高橋, 高見澤, 中島, 名和, 馬場, 松田, 真鍋, 安富の各教授

秋葉, 池亀, 上原, 額定其芳, 鍾, 塚本, 古井, 米野の各准教授

海外渡航者

黒田, 平勢, 森本の各教授, 藏本准教授

議事

11月7日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募について なし
2. 各種研究助成等の募集について なし

報告事項

3. 所長報告

梶屋所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 教育研究評議会（11月12日）

東京大学科学研究行動規範委員会規則の一部改正

資料P6～17に基づき、東京大学科学研究行動規範委員会規則の一部改正について報告があった。

2) 未来社会協創推進本部（11月19日）

① Tokyo Forum 2019

資料P19に基づき、Tokyo Forum 2019について報告があった。

② 未来社会協創推進本部地域連携登録プロジェクトの情報提供依頼

資料P20～22に基づき、未来社会協創推進本部地域連携登録プロジェクトの情報提供依頼について報告があった。

3) 科所長会議（11月19日）

① 本郷地区キャンパス自動車入構利用負担金の改正案

資料P24～28に基づき、本郷地区キャンパス自動車入構利用負担金の改正案について報告があった。

② 東京大学総長特別表彰の規則の制定及び候補者の決定

資料P29～30に基づき、東京大学総長特別表彰の規則の制定及び候補者の決定について報告があった。

③ 平成30年度以降の採用可能数の学内再配分に関する基本方針

資料P31～38に基づき、平成30年度以降の採用可能数の学内再配分に関する基本方針について報告があった。

④ 「教学 IR 分析事例集」冊子データ・図表（英語版）の学内展開

資料P 39に基づき、「教学 IR 分析事例集」冊子データ・図表（英語版）の学内展開について報告があった。

4) 教員の海外渡航について（報告）

資料P 40～41に基づき、5件を承認した旨報告があった。

5) 委員等・非常勤講師の応嘱について

なし

6) その他

① 海洋アライアンス評議会委員について、総長室総括委員会設置の組織である海洋アライアンス評議会委員として、榎屋教授が委嘱されているが、当該アライアンスの活動趣旨は海洋教育・研究推進であり、本研究所で関連する研究分野がないため、来年度からの連携研究機構には本研究所は参画しないことが確認された。

② 12月2日に監事監査が実施されるので、本部へ何か要望することがあればお知らせいただきたい旨協力依頼があった。

4. 各委員会報告

1) インフラ委員会

特になし

2) 財務委員会

特になし

3) 情報・広報委員会

特になし

4) 研究企画委員会

特になし

5) 図書委員会

上原委員より、アジア研究図書館4階開架コーナー配架資料のU-PARLによる選定作業が終了したので、後ほど図書チームより選定結果をメールでお知らせする旨報告があった。

6) 東洋学研究情報センター委員会

特になし

7) GJS委員会

園田委員長より、

① 大学本部が構想している国際日本研究機構（仮称）の立ち上げに関する現状報告があった。

② 来年度のサマープログラムについて、日程が決定した旨の報告と受講生の選考・結果通知方法について説明があった。

③ 香港大学との交換留学について、プログラムの内容について報告があった。

④ 資料P 42～45に基づき、日本航空（JAL）とのMOU締結について説明があり、GJS委員会の中で審議したことが報告された。

8) EAA委員会

特になし

9) 環境安全管理室

名和室長より、

① 東大構内における耐震工事現場付近での転倒についての報告と冬季に向けての注意喚起があった。

② シンガポール出張帰国後のデング熱感染について注意喚起があった。

③ 本日午後2時から3階大会議室においてAED（自動体外式除細動器）の取扱い等に関する講習会が開催される旨案内があった。

10) その他

① 高見澤過半数代表者選挙管理担当より、本日、本郷事業場の過半数代表代議員選挙の信任投票が開始される旨案内があった。

② 上原レクリエーション委員長より、本日の夕刻に開かれる創立記念パーティーについて、忘年会を兼ねて開催する旨案内があった。

5. その他

榊屋所長から、年末年始の予定について、12月27日（金）（年内最後の業務日）には年末挨拶を含め行事を予定していないこと、1月6日（月）（年始最初の業務日）は、11時45分から大会議室にて仕事始めの年頭挨拶を行うとの案内があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

該当教員より説明があり、資料P46のとおり1件が承認された。

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員より説明があり、資料P47のとおり1件の受け入れが承認された。

8. 研究協力者の申請について

該当教員より、資料P48及び回覧資料に基づき説明があり、承認された。

なお、研究協力者の年齢等の制限条項を見直すことが確認され、関係規則の改正について研究企画委員会で審議し、教授会に諮ることとなった。

9. 学術フロンティア講義について

真鍋教授より、文系3研究所で担当している学術フロンティア講義について、資料P49～50に基づき、令和2年度の開講について日程が決まった旨報告があり、講義を担当するため3名の教員を選出する必要があることの説明があり、講義担当教員をこの場で募りたいとの依頼があった。これを受け、その場で以下の教員から申し出があり承認された。高見澤教授、鍾准教授、古井准教授

10. 次期所長候補者の選出について

榊屋所長から、次期所長候補者の選出にあたり、定足数となる教授会構成員総数の3分の2以上に達しているため、本件に係る審議を行う旨説明があり、資料P51～56に基づき、次期所長候補者選出までの手続きの流れ、被選挙者、任期等の確認が行われた後、別室にて選挙管理担当者の准教授2名による所長候補者適任者推薦書の開封作業が行われ、その後、選挙管理担当者から、東洋文化研究所内規（以下「研究所内規」と

いう) 第12条第1項第2号に基づき、五十音順に候補者適任者の被推薦者が発表された。

発表後、上記の候補者適任者として推薦された教員以外の教員に投票しても差し支えないこと、研究所内規第13条第2項により、所長経験者は被選挙権を有さないこと等が確認された後、研究所内規第12条第1項第2号に基づき、単記無記名による投票を行った結果、教授会構成員総数の過半数を得た候補者がいなかったため、東洋文化研究所内規第12条第1項第3号に基づき、得票上位2名の教授による決選投票が行われ、上位1名が選出された。その後、次期所長候補者として選出された教授の受諾意向の確認を行った結果、受諾する旨確認され、次期所長候補者が選出された。任期は令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3年間となる。

11. 教員人事について

榊屋所長より、資料P57に基づき、今年度末で任期満了となる情報学環流動教員の後任について、令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3年任期にて名和教授及び青山教授に依頼したい旨提案があり、承認された。

12. その他

特になし

以上